

子宮頸がんはヒトパピローマウイルス（HPV）への感染が関与していることがわかつています。低年齢での初交、性的パートナーが多い、多産、他の性行

HPV感染は
ありふれた現象です

初期の子宮頸がんはほとんど症状がない、がんが少し進行すると、初期症状として月経でないときの出血（不正出血）、性行為の際の出血、普段と違うおもいものが増えたりします。他にも、月経の量が増えたり、長引いたりすることもあります。

初期はほとんど
症状がない

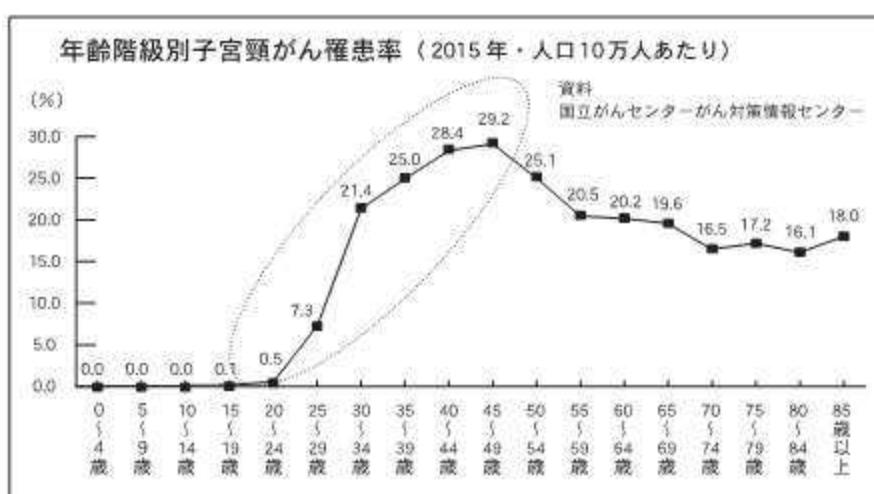
子宮がんには、子宮の入り口にできる「子宮頸がん」と子宮の奥にできる「子宮体がん」があります。この2つは、原因も症状も大きく異なる病気です。

若い女性に急増中
「子宮頸がん」

HPVは珍しいウイルスでは

なく、人の皮膚や粘膜に潜むあります。
性交経験者のほとんどの女性が一度は感染していると言られています。ただし、感染しただけで病気と考える必要はなく、「現在のパートナーが信用できない」「将来がんになる」と考えるのは間違っています。HPVに感染しないで、すべてがすぐにがん化せず、約9割の人は2年内に自己免疫によって自然に治ります。

定期的な検診受診で早期発見



近年、40歳代をピークに20～30歳代の若い女性に子宮頸がんが急増しています。上のグラフでは30歳代で発症が急増しており、10～20歳代で、子宮頸がんの主な原因のHPVに感染する人が多いことがわかります。

子宮頸がんになるまでには、通常、数年～10数年かかります。さらに、初期症状がほとんどないため、定期的な検診で早期に発見することが大切です。検診の細胞やがん細胞が存在するのかを調べます。早期に発見できれば、円錐切除という小さな範囲の手術で完治し、妊娠・出産も可能です。

女性のみなさん、この1～2年間に検診は受けられましたか？ 与謝野町では、20歳以上の女性を対象に、2年に1回の子宮頸がん検診の受診が無料になる制度を設けており、指定医療機関で受診する「個別検診」または「集団検診（検診車）」のどちらの方法で受診できます。受診はためらわれるものですが、大切な自分の身体は自分で守りたいものです。子宮頸がんのリスクを低くするためにも、正しい知識を身につけ、ぜひこの機会に検診を受けましょう。

がんばってます！消防団

編集 ● 消防団本部

令和3年度「辞令交付式」を開催

4月4日、令和3年度与謝野町消防団辞令交付式を岩瀬保健センターで開催し、新係長をはじめ5人の団員に木村團長から辞令を手渡しました。その後、新入団員を代表して、田中大希団員が「不公平ならびに偏見をさけ、何人も恐れず良心に従つて忠実に消防の義務を遂行することを厳粛に誓います」と宣誓し、消防団員としての新たなスタートを切りました。



■新入団員紹介～新たに4人が入団～

第2分団	糸井 太陽	第4分団	田中 大希	第6分団	安藤 優志	第9分団	小室 幹太
------	-------	------	-------	------	-------	------	-------

■火災発生時における出動区分

火災発生時は北部と南部の2つの地域に分け、その地域に属するすべての分団と、隣接する分団が出動します。

火災発生場所	出動分団
岩瀬地域	北部地域の全分団
山田地区	北部地域の全分団および第5分団
石川地区	北部地域の全分団および第5・6分団
幾地・四辻地区	南部地域の全分団および第3・4分団
温江・明石・香河地区	南部地域の全分団および第4分団
三河内・岩屋・賀所・加悦奥・加悦・後野・与謝・澗・金屋地区	南部地域の全分団

※ 第1～4分団が「北部地域」、第5～10分団が「南部地域」です

北部

南部

求む!
消防団員



与謝野町消防団では、若い団員の増加を目指して積極的に新入団員を募集しています。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず、地域に密着し町民の安全と安心を守る重要な役割です。消防団員は、町内に居住し、18歳以上で健康な方であればどなたでも入団できます。

あなたも消防団員として活動してみませんか？

防災安全課 ☎ 43-9011